



萩市  
HAGI

# 議会だより

2012.10.15 No.26

編集/議会だより編集委員会 発行/萩市議会  
〒758-8555 萩市江向510 TEL 0838-25-3131



## 9月定例会

23年度一般会計決算審査	2・3	P
常任委員会審査の概要	4～6	
<b>一般質問</b> 15人が質問しました	8～12	
大島漁港特定漁港漁場整備工事に関する調査特別委員会	13	

11月10日・11日 萩ふるさとまつり・萩時代まつり



# 実質収支 5億7,434万円の黒字

平成23年度萩市一般会計決算他19特別会計決算を9月定例会で認定しました。一般会計決算審査は、正副議長、監査委員を除く全議員で構成する特別委員会が審査を行い、120項目を超える質疑が交わされたのちに「賛成多数」で認定いたしました。

## 一般会計決算額

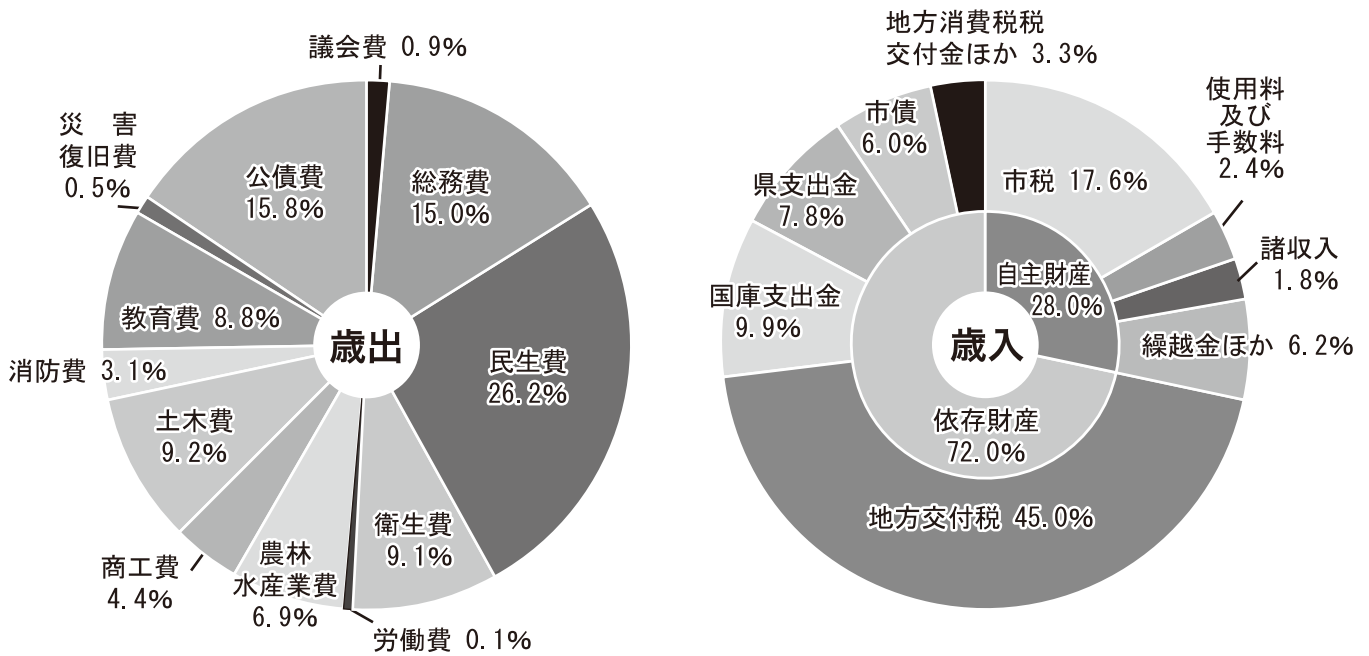
歳入 325億1,594万9,443円 (対前年比8.1%減)

歳出 316億5,868万2,009円 (対前年比7.8%減)

繰越明許費 31億6,814万5,026円

実質収支額 5億7,434万8,758円

## 23年度一般会計決算



### 予算の概要

平成23年度当初予算324億円でスタート。その後平成22年度に国の補正予算で措置された「住民生活に光をそそぐ交付金」の追加配分を財源として、事業化したもの並びに国の補正予算に呼応して農業生産法人が大規模な畜舎等を建設する事業に対して補助を行う事業、消防救急無線をデジタル化するための事業、平成24年度に実施を予定していた小中学校施設の耐震化を前倒しして行う事業など、6回の追加補正を行い、補正後の最終予算額は歳入歳出ともに364億1837万円となりました。

### 決算の概要

決算規模では、歳入で前年度比8.1%減少、歳出で同7.8%減少しました。主な要因は、国の

経済対策に伴う経済危機対策臨時交付金事業、公共投資臨時交付金事業及びきめ細かな臨時交付金事業が終了したことや、萩図書館整備事業などの大規模事業が終了したこと等により、事業規模が減少したことによるものです。また普通交付税では平成22年度の国勢調査人口が算定の基礎数値となったことから、人口減少の影響を受け、大幅な減額要因となりました。

### 収納概要

(単位 千円)

区分	調定額	収入済額	収納率	不能欠損額	収入未済額
市税	6,438,049	5,711,752	88.71%	102,901	623,395
保育料等	305,551	259,731	85.00%	5	45,814
住宅使用料等	227,862	179,943	78.97%	4,423	43,495
国民健康保険料	1,940,157	1,513,169	77.99%	61,612	365,375

# 大型の一般会計決算認定

## 主な審査の内容をお知らせします

### 【総務管理費】

[問] 市民便利帳発行にあたり広告協賛店を積極的に利用されては。

[答] 財源確保対策の一環として、市内事業者などの広告を掲載し官民協働で発行しました。積極的な利用を検討します。

[問] 職員研修の実情について、何名の職員が研修を受けていますか。

[答] 研修を受けた延べ人数は954名で、少なくとも1人が1回以上は研修を受けています。

[問] 結婚相談所の運営については、各地域に出向いてはいかがですか。

[答] 非常勤の相談員2人が結婚を希望する独身男女の相談を受けると共に、出会いの場の創出を支援しました。延べ550件の相談を受け、4組の婚姻が成立しました。結婚相談はプライベート性が高く、周囲の人の目が気になるよう各各地区へ出向いての相談は考えていません。

[問] 魅力ある地域づくり交付金事業の状況は。

[答] 地域内の集落や自治会、各種団体等の広域的な連携により、地域の諸課題に住民自らが対応し主体的かつ円滑な地域づくり活動を支援するため、地域コミュニティ組織に交付しました。川上地域377万円・田万川地域536万円・むつみ地域427万円・須佐地域520万・旭地域624万円・福栄地域470万円となっています。

### 【社会福祉費】

[問] 地域見守りネットワーク整備強化事業の成果は。

[答] 地域に住む人が相互に助け合い、地域の実情に応じた日常的な支え合い体制及び要援護者の見守り体制の構築と地域拠点づくり等の支援を行いました。要援護者情報システム登録者数5211人です。

### 【児童福祉費】

[問] 母子家庭高等技能訓練促進事業の実績は。

[答] 支給対象者は11名で、そのうち一時金支給対象者は7名です。取得した資格は准看護師・看護師・理容師等です。

### 【保健衛生費】

[問] 自殺対策はどのようになっていますか。

[答] 地域自殺対策緊急強化事業及び心の健康づくり相談事業を実施しました。保健推進委員・民生委員等を対象に全地域で研修を実施し、心の健康づ

くり見守り隊を養成した。また心の健康について専門相談員を養成し、市民等の相談事業を充実しました。

### 【農業費】

[問] 農地フル活用促進事業では、どのような作目に取り組みましたのですか。

[答] 大豆・にんじん・カボチャ・ブロッコリー・はなっこりー・タマネギ・ゴマの8品目で15.5haの作付け面積が増加しました。

[問] 新規就農者の状況は。

[答] ふるさと萩回帰応援事業を実施し、21年度から23年度の3年間で12名が就農しました。

### 【水産業費】

[問] 漁業後継者育成対策事業の成果は。

[答] 漁村青年の交流活動に対して補助を行い、5組のカップルが誕生し、2組が結婚されました。

### 【商工費】

[問] 萩商工会議所への市有地の無償貸付については、土地にかかる権利関係を調査のうえ整理すべきでは。

[答] 他市の状況等を調査します。

### 【土木費】

[問] 橋りょう維持管理の状況は。

[答] 5m以上の橋の調査は全て終了しました。A～Cランクの内Cランクの139橋については、今後計画を立て長寿命化の修繕を行います。

### 【都市計画費】

[問] 陶芸の村公園整備の進捗率はどのくらいで、今後の計画はどうなっていますか。

[答] 昭和61年度から平成27年度の事業期間で、総事業費は18億円です。平成23年度は広場の整備やトイレの新設を行い、進捗率は73%です。今後は山手側の整備を行います。

### 【消防費】

[問] AEDの設置数と活用実績は。

[答] 市公共施設87箇所に設置しています。救急車両の中で5回使用しました。

### 【社会教育費】

[問] 萩ウエルネスパークの指定管理者制度について、入札を導入し競争原理を取り入れてはどうですか。

[答] 当初は受け皿がなく随意契約していましたが、今後は検討していきます。



常任委員会の審査の概要をお知らせします

# 平成24年度萩市一般会計 補正を行い322億3,400万9千円に 総務

総務委員会には、平成24年度萩市一般会計補正予算(第3号)を含め、4議案が付託され、審査の結果すべて可決するものと決しました。

## 平成24年度萩市一般会計補正 予算(第3号)

補正予算額は、1億4296万8千円

### ○障がい者支援施設整備費補助事業 (5,133万4千円)

この事業は、ふたば園成人部と子ども発達支援センター「からふる」が、萩地域の無田ヶ原口地区へ移転新築するため、その事業費の一部を助成するものです。

問 新築移転して、定員はどうなりますか。  
答 成人部60名、子ども発達支援センター「からふる」45名になります。成人部の定員の内、10名は就労継続支援A型事業所の定員です。なお、これまでであった就労継続支援B型事業所(定員20名)は、これまで通り継続されます。



ふたば園建設予定地

問 社会福祉法人に対する事業費助成は、条例で定められていますか。  
答 社会福祉法人に対する事業費助成は、条例で定められています。助成額について補助率等のルールはなく、そのときどきの状況をしながら予算の範囲内で助成を行っています。

問 公平性を保つ意味からも、補助率等の基準をつくらなければならないと思いますか。  
答 設計では固い地盤だと思っても、実際はやわらかい地盤だったと言うことは、よくあることです。

問 現在の段階で分らなかった追加工事になったと思いますが、このようなことは、よくあることですか。  
答 設計では固い地盤だと思っても、実際はやわらかい地盤だったと言うことは、よくあることです。

### 《テニスコート利用料金》

区分	午前 (9:00 ~ 12:00)	午後 (12:00 ~ 17:00)	夜間 (17:00 ~ 22:00)	延長使用 1時間 当たり	照明使用 1時間 当たり
専用使用 萩市テニスコート	1面1時間につき		400円	延長使用 1時間 当たり	1面につき 500円

問 現在の段階で分らなかった追加工事になったと思いますが、このようなことは、よくあることですか。  
答 現在の段階で分らなかった追加工事になったと思いますが、このようなことは、よくあることです。

問 現在の段階で分らなかった追加工事になったと思いますが、このようなことは、よくあることですか。  
答 現在の段階で分らなかった追加工事になったと思いますが、このようなことは、よくあることです。

## 萩市体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

これは、中央公園にある萩市球技場(テニスコート)の整備に伴い、所要の改正を行うものです。

問 使用料が改正前に比べかなりの増額になりますが、何か対策をとっていますか。  
答 市の主催・後援等の大会については、減免を行っています。また学生等の利用についても、同様の措置を取っています。

今後、減免の適応範囲については検討していきます。

問 準備型と開始型がありますが、合わせて何名程度を見込んでいますか。  
答 準備型で10名、開始型で3名を見込んでいます。

問 準備型と開始型がありますが、合わせて何名程度を見込んでいますか。  
答 準備型で10名、開始型で3名を見込んでいます。

問 準備型と開始型がありますが、合わせて何名程度を見込んでいますか。  
答 準備型で10名、開始型で3名を見込んでいます。

### ○鈴毛台線道路整備事業 (1,200万円)

この事業は、現在改良中の当該道路において、切土を行ったところ、法面法枠が必要になったため行われます。



常任委員会の審査の概要をお知らせします

# 教育 民生

## 休日の一次医療を担う診療センター事業着手

教育民生委員会には「平成24年国民健康保険事業（事業勘定）特別会計補正予算（第一号）」を含む議案10件が付託されました。審査の結果全て認定・可決するものと決しました。

主な審査の内容は次のとおりです。

○平成23年度国民健康保険事業（事業勘定）特別会計決算認定について

問 保険給付費及び保健事業費の不用額の要因は何ですか。

答 保険給付費は、23年度は特にインフルエンザが流行しなかったための予定していた療養費の支出がなかったことによるものです。

問 保険料の収入未済額に對して、督促・催告・差し押え等の事務執行状況はどうですか。

答 23年度の収納率は91.7%と昨年より2.2%上昇していますが、滞納繰越分を含め未納額は、3億6546万7358円あります。

督促・催告は文書で行い、家庭訪問などで未収額の収納に努力をしています。差し押えをした例はありません。

問 不能欠損処理の理由は、2年の時効を過ぎたも

の、被保険者の死亡や、転出によって住所が判明できなくなり、督促できなくなったものなどです。

問 窓口業務・時間延長による収納率への影響はありましたか。

答 多少収納率の向上に貢献していると思います。

○平成23年度国民健康保険事業（直診勘定）特別会計決算認定について

これは、川上診療所・むつみ診療所・弥富診療センター・福川診療所に係る国民健康直診事業の決算です。

問 医療費抑制のためジェネリック医薬品の利用頻度はどうですか。

答 なるべくジェネリック医薬品を投与して頂くようお願いしていますが、以前よりはたくさん利用されています。

○平成23年度萩市病院事業会計決算認定について

問 病院の患者数の現況はどうですか。

答 23年度は次のとおりです。

※入院患者数

延べ3万549人

（一日平均83・5人）

前年比638人増

※外来患者数

延べ7万2230人

（一日平均296人）

前年比2310人増

問 未収金の計上がありましたが、保険の診療報酬が殆んどだと思えますが、窓口負担分の未収金もあると思われていますか。

答 再来院の際に請求をしたり、請求書の発送、家庭訪問等で、少しでも未収額を減らすよう努力しています。

問 外来患者が特定の曜日に集中していることがありますが何故ですか。

答 糖尿病等の専門外来を開設している曜日に外来患者が多くなる傾向にあります。

○萩市税条例の一部を改正する条例

地方税法の一部改正に伴い、地域に密着した公益活動等の促進を図ることを目的に、個人市民税の税額控除の対象となる寄附金の範囲を拡大し、市内に事務所等を有する特定公益増進法人等に対する寄附金について税額控除の対象に加えるため、条例を改正するものです。

問 対象となる事業所はどこですか。

答 財務省告示指定一宗教法人大照院・萩広域シ

ルバー人材センター・萩光

塩学院・萩学園・萩社会福祉法人（15カ処）の計19事業所です。

○工事請負契約の締結について

救急医療体制をはじめとした現在の医療提供体制の維持を目的に、休日の一次医療を担う診療所として、萩市民病院外来駐車場内に整備する休日急患センターの建築工事に係る請負契約を締結するものです。

完成は、平成25年7月末日です。

【契約の目的】休日急患診療センター工事

【工事場所】萩市大字椿3460番地3

【契約の方法】条件付一般競争入札（8月24日）

【契約金額】3億2550万円

【契約の相手方】休日急患診療センター建築工事（松村建設・小橋組JV）

問 センターのスタッフは、現在、休日24時間対応できるスタッフについて検討しています。

早急に体制を整えたいと思っております。



宗教法人 大照院

常任委員会の審査の概要をお知らせします

経済建設

新堀駐車場の将来は 御成道駐車場利用マナーの改善を

経済建設委員会には、平成23年度萩市簡易水道事業特別会計決算認定ほか議案9件が付託されました。審査の結果、全て原案のとおり認定すべきものと決しました。審査における主な質疑応答は次のとおりです。

○平成23年度萩市簡易水道事業特別会計決算

●水質検査業務委託料の支出根拠及び低価格落札率への質疑がありました。

●この事業は県内の業者による落札結果であり、担当者がかかりチェックしているとの答弁でした。

また、水道使用料金の滞納繰越分に対する収納率への対応の現況についての質疑では、収納率の向上にむけて、担当者間との連携をさらに強化し進めるとの答弁でした。

○平成23年度萩市農業集落排水事業特別会計決算

●償還金利子及び割引料について、昨年の福栄地区の誤徴収の対象人員・誤徴収の追加徴収の方法・収入の処理・使用料金に対する延滞金・規則の改正について質疑がありました。

●答弁としては、対象37世帯のうち、21世帯が還付対

象世帯、追加徴収16世帯のうち13名が一括徴収、3名が分割徴収となっています。

また、追加徴収された世帯の延滞金は、徴収しません。また、使用料金に関する規則の改正は、平成24年3月に行い5月1日から施行しています。

これにより、各総合事務所の一元的な事務処理を行うこととなります。なお、各総合事務所の使用料金は、世帯構成人員制の徴収から従量制に変更するメーターの新設などの予算措置について検討されているとの答弁でした。

○平成23年度萩市漁業集落排水事業特別会計決算

●今後の整備計画について、小畑地域の集落排水設備工事計画への質疑がありました。

●椿東前小畑の一部地域については、平成28年度までに計画することとしていますが、その後は未定である

との答弁でした。委員からしっかりと説明をしてほしいとの要望が出されました。

○平成23年度萩市特定地域生活排水事業特別会計決算

●三見地区の普及率と今後の整備計画について質疑がありました。

●答弁としては、普及率は66・39%の進捗率となっており、平成23年度で集合方式が終了し、その後は合併浄化槽で対応する計画としていくとのことでした。

○平成23年度萩市駐車場事業特別会計決算

●市営駐車場利用台数の減少と対策、新堀駐車場の施設の維持管理、更に、駐車場の今後の運営方針について質疑がありました。

●利用率の向上に努めること、新堀駐車場の施設の改善について、駐車場のあり方を含め今年度中に結論を出すとのこと、また、御成道駐車場の利用者のマナーの悪さが目に付くことから、田町商店街振興組合連合会とも協議し改善策を講じる

との答弁でした。

○平成23年度萩市水道事業会計決算

●企業債の抑制について質疑がありました。

●人口減少のために赤字決算は免れないのでより一層の節減に努めることが大切であるとの答弁がありました。

また、借入金を減らせないかとの質疑に対し、水道料金は5年間を見据えての改定であることから、赤

字決算になるより黒字決算となるように心がけた執行努力と借入額が増えないようにしていること、更に、減価償却費の取り扱いについて、企業会計の手法が変更されるので資産運用を含めて見直しが必要となるとの答弁でした。

特別会計全般において、滞納処理について完納に向けて最大限の努力をされた。との意見が出されました。



御成道たちまち駐車場

# 平成24年度9月一般会計補正予算の概要

(単位：千円)

補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
32,091,041	142,968	32,234,009

歳出予算の主なもの

(単位：千円)

費目	事業名	補正額
【財産管理費】	<p>◎市有地駐車場整備事業</p> <p>将来活用が見込める不動産の寄付があり、建物については倒壊の危険性があることから、解体し駐車場に整備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建物解体・・・1棟（木造瓦葺2階建て）</li> <li>・駐車場整備・・・20台分（600㎡）</li> </ul>	8,056
【障害者福祉総務費】	<p>◎障がい者支援施設整備費補助事業</p> <p>ふたば園成人部及び子ども発達支援センター「からふる」が、無田ヶ原口地区に移転新築することから、施設整備を行う社会福祉法人ふたば園に対し、事業費の一部を助成する。</p>	51,334
【農業振興費】	<p>◎新規就農総合支援事業</p> <p>○青年就農給付金（準備型）</p> <p>就農前の2年間について、給付要件を満たした研修生及び指導者に給付する。</p> <p>（給付内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修生・・・月額15万円</li> <li>・指導者（法人・認定農業者）・・・月額6万円</li> </ul> <p>○青年就農給付金（開始型）</p> <p>経営が不安定な就農直後5年以内の所得を確保するため、要件を満たした農業者に給付する。</p> <p>（給付内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業者・・・月額12万5千円</li> </ul>	13,200
【中学校管理費】	<p>◎中学校改修事業</p> <p>平成25年4月1日に旭地域の2つの中学校が統合することに伴い、明木中学校の屋内運動場及び校舎の一部改修を行う。</p>	3,559



# 一般質問

9月10日から12日まで15人の議員が、一般質問を行い、その質問項目の一部を掲載します。



## 河川危険箇所 の 浚渫を

広兼義烈  
(誠風会)

【問】市内(阿武町を含む)には78の二級河川があります。多くの河川が、葦や、やなぎ竹等で覆われています。危険な箇所が沢山あり浚渫や雑立木等の取除きが急務です。県管理の河川ではありませんが市民生活に与える影響が大きいために対応が急がれています。実態を調査・確認され、それをもとに県に早期対策を強く働きかけられるよう要望します。地震・津波対策とともに豪雨対策も重要です。市の方針について質します。

【答】萩市では、県管理河川の浚渫等が必要な箇所の把握及び県への要望は、毎年8月から9月にかけて、各地域ごとに、現地調査及び要望の整理を行い、10月末までに優先順位をつけ、県へ強く要望しています。平成24年度の県への要望箇所数は、50箇所あり、そのうち県の当初予算内示において、25箇所の河川浚渫等を実施する予定と聞いています。今後も、引き続き県に対して、より多くの浚渫等のための予算を強く要望していきます。



葦や柳に覆われた川

《他の質問項目》  
・小・中学生の食育とそれに関連する問題について



## 公共事業での政治家などの不当要求をどう防止するか

宮内 欣二  
(日本共産党)

【問】6月議会で市の公共事業に関わって現職市議の金銭授受疑惑を指摘しました。今度は県の漁港工事で、公職にある地元団長が、3000万円を要求したことを受注業者関係者から聞きました。出さなければ着工させないと要求され、千数百万円を渡したと述べています。運んだ人も認めています。

県は不当要求があれば通報してくれと指導しているので、通報がなければ「要求はない」と思われると答えました。これでは防止できません。市はどんな対策を考えていますか。

【答】市発注の工事等に絡む様々な不当要求排除の仕組みをつくっています。

- ① 予定価格を事前公表し職員による価格漏えい等を防止しています。
- ② 大型工事の入札時、応札者に対し暴力団等の要求の排除と違法行為について警告しています。
- ③ 契約文書で、要求について発注者への報告と警察への通報を義務付けています。
- ④ 一定金額以上の工事で、協議会を設置し警察と連携しています。
- ⑤ 職務上知り得た要求は、定めた様式に記録し市長へ報告しています。

《他の質問項目》  
・暴力団排除の取り組みについて  
・セミナーハウス等の公共施設のバリアフリー化について



## 貿易港の維持について

小林 正史  
(新志クラブ)

【問】全国には萩港と同じ様に輸出入額が少ない貿易港がいくつ也存在します。厳しい状況の中貿易港を維持しようとする重要性、必要性、利点についてお尋ねします。現在取り扱っている貿易品について、市民の中には「有害性」に不安をもっておられる方もあります。タウンミーティングにおいて景観上の指摘もありました。対応をお尋ねします。

【答】萩港は、昭和2年に国際貿易港となり、現在に至っています。貿易港があることで税関が設置され、対アジアを含めた今後の経済発展にもつながっていきます。現在の貿易を行うに当たり、舗装・側溝・飛散防止柵設置工事等が実施されているほか、貿易品に関しては税関、日中商品検査株式会社が毎回検査を実施しています。景観上の問題があることは認識していますので、萩港貿易促進協会や関係者と協議をして、対応を検討していきます。



国際貿易港 萩港

《他の質問項目》  
・財産管理について  
・陶芸大リーグについて  
・世界遺産登録について

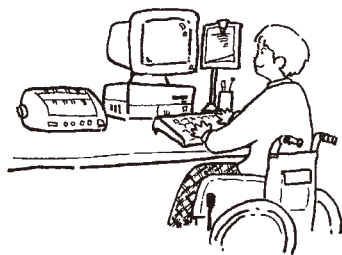


障がい者の民間企業への就労支援を

木村靖枝  
(政和会)

【問】障がい者が、授産施設での就労では高い収入が望めない処から、民間企業への就労を望む人がふえています。しかし職場での人間関係や業務の悩みから1〜2年で辞める人が後を絶たず職場定着の支援も課題です。障がいの程度障がい併せた仕事内容の配慮が必要なことから、就労にあたり出来ることと出来ない事を事業所に伝達し、障がい者が円滑に就労できるような職場内外の支援環境を整えるジョブコーチが必要です。このことをふまえ、今年6月に公布された「障がい者総合支援法」の施行される中、障がい者の就労に前向きに取り組まれるお考えはありませんか。

【答】障がい者の一般企業での雇用につきましては、厚生労働省のいろいろな施策が展開されています。障がい者雇用の促進は時代の流れであり、市としてもハローワーク等の関係機関との連携を保ち、ジョブコーチを含め、いろんな意味で協議を重ねていきたいと思えます。また、一般企業等での就労がすぐには困難な障がい者もいるため、就労移行支援事業等により適性に合った職場探しや就労後の職場定着の支援を積極的に行っていきます。



《その他の質問項目》  
・観光行政について



萩市起業化支援助成金は事業継続に主眼を

関伸久  
(過疎問題を考える会)

【問】萩市起業化支援助成金制度が好評です。初日に申込みが殺到し、既に本年度予算の250万円を消化したと聞いていますが、その適応は申込み順ではなく、3ヶ月程度の事業告知と受付期間を設け、厳正に審査を行い判断すべきです。具体的には同一業種例えば、飲食業や理美容業の申込みが複数ある場合には、当該年度における適用は一社にし、業種分散を図るべきです。また民間の有識者を招いて審査会等の設置も検討すべきです。この制度の本質的な目的は、起業した会社もしくは個人が長きに渡り、この地で事業を継続していくことにあります。事業継続性に欠ける申込みはこれを却下することも必要です。10年生存する創業会社は2〜3社といわれます。ここ萩市では、その確率を高めていきます。

【答】平成23年2月1日から起業化支援補助制度を開始し、これまで10件の方が起業されました。ご指摘いただいた点も含め、対象事業、募集期間、審査機関の設置等、運用の仕方について、来年度に間に合うよう、内容を検討していきます。萩にはいろんな意味で可能性があり、財産を生かしてきつてない部分があります。せっかくご提案いただいてきた制度であり、少しでも萩市の経済、市民の皆さんにとって有益な事業となるよう、努めていきます。

《その他の質問項目》  
・国会空転が及ぼす萩市財政への影響について



大井地域に公衆トイレの設置を

佐々木武夫  
(公明党)

【問】大井には公衆トイレがない。長門大井駅の老朽化した汲み取りのトイレの水洗化、又、地域の墓のある松崎の地にも水道を、手が洗えるようにとの要望があり、気兼ねなく、いつでも利用できる公衆トイレが欲しい。公民館もありますが、土曜午前中は開いていますが、午後と日曜は、表の入り口は鍵が掛かっています。今、平成27年度完成を目指し、大井地域に待望の下水道工事が進んでいます。国道沿いに、公衆トイレの設置ができませんか。

【答】大井地区は、平成27年度までに下水道施設を整備する予定ですが、地域に公衆トイレが必要かどうかは大井地区の皆さんのご意見をいただいた上で検討します。なお、大井公民館には、障がい者用も含めたトイレがあり、土曜日・日曜日も開館していますのでご利用していただきたく思います。また、公民館にはトイレが利用できる旨を表示し、利用者に一層の周知を図っていきます。



長門大井駅のトイレ

《その他の質問項目》  
・地域社会の高齢者対策について  
・低炭素社会に向け再生可能エネルギーを利用した町づくりについて





**住民票等のコンビニ交付はできませんか**

中村 洋一  
(公明党)

【問】住基カードを使ってコンビニエンスストアのキヨスク端末から、土日祭日関係なく、いつでも6：30～23：00までの間、市民が可能な時間に都合のいい場所で（極端な話、日本中どこでも）住民票や印鑑登録証明書などの証明書類を取得することができるシステムです。市民サービスの向上になり、また、コンビニ交付が進めば進むほど行政窓口業務の軽減につながり、またコスト削減にもつながる施策になると思われませんが、積極的に取り組まれるお考えはありませんか。市長のご所見をお伺いします。

【答】萩市では、越ヶ浜郵便局での証明書交付や本庁での証明等の総合窓口の受付を一本化するなど市民の利便性の向上に努めています。コンビニでの住民票等の交付については、現在、導入が予定されているマイナンバー（社会保障・税番号制度）が整備されれば、将来的に費用の軽減も見込まれるので、コンビニでの公共料金の収納と併せて、市民の視点に立って検討をしていきます。

《その他の質問項目》  
・土木行政について



コンビニのキヨスク端末



**樫地区の下水道整備について**

平田 啓一  
(無所属)

【問】①樫地区では、JRの線路より南側を農業集落排水事業で整備中です。一期工事が終了し、一部で供用が開始されました。本年度より二期工事が始まりますが、整備面積が大幅に縮小されました。経緯についてお尋ねします。また今回除外された地区の水洗化計画、支援策についてお尋ねします。②樫の北側の地区（金谷・雑式町・樫町・濁沢）は公共下水道で整備される計画ですが、今後の見通しについてお尋ねします。

【答】樫南地区の農業集落排水事業は、先に1期工区の整備を行いました。このため、2期工区では、浄化槽の整備が進み、一部地区では約8割が設置されました。こうしたことから、今年度の事業着手に際し、補助金のあり方等を検討し、急ぎよ計画を変更しました。今後、浄化槽設置の支援策、排水路等の課題については、全力で対応していきます。樫北地区は、来年度から事業計画の変更、設計等を行い、平成28年度に工事を着手する予定です。

《その他の質問項目》  
・高規格道路整備の進捗状況と樫地区の課題について  
・防災（水害）対策について



樫南浄化センター



**小原地区の課題（飲料水施設の維持管理及び道路拡幅）**

斉藤 眞治  
(新生会)

【問】平成21年9月29日付で、小原地区清掃工場建設誘致協議会から清掃工場建設に伴い、8項目の要望書が提出されています。この中に、飲料水施設の整備と、県道萩三隅線（倉江～小原間）の道路の拡幅が要望されています。又、7月24日に開催された、白水地区市長とのタウンミーティングでも同様の発言もありました。そこでお尋ねします。

(1)飲料水施設工事の概要は。又、萩市飲料水供給施設事業分担金徴収条例の取り扱い。  
(2)飲料水供給施設の維持管理はどこが。  
(3)萩市飲料水供給施設の設置及び管理に関する条例の改正は。  
(4)新清掃工場への倉江・小原側からの進入路の必要性と、県道萩三隅線（倉江～小原間）の狭隘な道路の拡幅は。

【答】本飲料水施設は、萩・長門清掃一部事務組合が現在小原地区に家屋を有する15戸に対して飲料水を補償するため整備した施設であり、新清掃工場と併せて管理するものです。一部事務組合では、公の施設としての性格を持たせていないことから施設の設置及び管理については、条例でなく要綱により規定しています。県道萩三隅線は、新清掃工場への迂回路として重要であり、線形不良箇所の改善など今後も引き続き県に要望していきます。

《その他の質問項目》  
・鉄道に父・井上勝翁生誕170年記念事業について  
（記念事業及びレプリカ建立は）  
・市長選挙について（来春の選挙への対応は）





すこやかな笑顔溢れる  
はぎのまちを

大村 赴夫  
(誠風会)

【問】健康寿命の増進をテーマに、自然治癒力を高める運動を静かに展開されている市民グループがたくさんあります。

社会保障と税の一体改革法案は成立しましたが、改革の本丸の医療費の増高に切り込む道すじは見えないばかりです。

蠚螂の斧かと思いしも、医療費増高に思いをいたし、医療維新のささやかな活動を市民運動として昇華させませんか。

自然治癒力に焦点をあてた統合医療・代替医療はWHOの推進する医療です。

萩市健康福祉計画にはOOL(生活の質の向上)が謳われています。これは統合医療のエッセンスそのものです。

笑う・歩く・語る・聞く・人の悪口をいわない等々のささやかな日常に健康増進の鍵があります。市に統合医療研究班を作り健康文化都市をつくりませんか。

【答】健康寿命の話だと思えますが、社会福祉協会など関係機関と連携して、健康寿命の延伸に努めていきたいと思えます。

統合医療については、もう少し勉強してみたいと思います。

《その他の質問項目》

・合併後2期目の市長としてまもなく任期を終えるが、この間達成した果実と課題について聞く



阿武川ダムのアオコ  
発生と萩市の飲料水  
との因果関係

西元 勇  
(誠風会)

【問】阿武川ダム取水口から大藤大橋下流にかけて「アオコ」が大量発生しています。この「アオコ」は水質の汚れを象徴する現象といわれています。

上流の長門峡は萩市自慢の大切な観光地でもあります。ダムの汚れと阿武川の水質検査を管理者である県にお願いされてはいかがでしょうか。阿武川は萩市の水ガメであり良質な水質は市民の自慢です。

こうした汚れは市民の命にかかわる重大な問題です。県と協議されるお考えはないか伺います。

【答】アオコは、水温が上がる初夏から盛夏にかけて藻類が異常繁殖し緑色の粉をふいたようにダム湖などに発生します。異臭等水道への影響を伴うことがあります。萩市の上水道は、阿武川ダムからの直接取水ではなく、阿武川の伏流水を水源としていますので現状では、アオコによる水源の水質への影響はありません。アオコの発生要因や生物への影響など勉強していきたいと思えます。また、あわせてアオコに対する周知の方法も考えていきます。



阿武川ダム

《その他の質問項目》

・萩市空き家等の適正管理に関する条例について



調査特別委員会と市長の責任

諸岡 皓二  
(無所属)

【問】今回の質問は、市・県の公共工事に関わる現職議員の「金銭授受」の疑惑で、解明する為に調査特別委員会が開設。8月8日・17日に参考人招致し審議を重ねた結果「金銭を受取った事実は確認出来なかつた」として賛成多数で結論付け8月28日をもって調査終了。参考人の意見は食違い、小職は100条にて継続審査と訴えたが、最終に15名、継続主張議員7名で打ち切りとなる。疑惑の解明どころか益々疑惑が深まったと言えます。市民の多くは打ち切りに反対しています。知る権利があるからです。疑惑問題の発端は、3年前の市職員の業者接待です。

職員は処分を受け、同席した現職議員は罪なし。これが萩市政の疑惑でなくして、何でしょうか。隠蔽している市長の責任は重大です。

このことを市長はどのようにお考えかお尋ねします。

【答】3年前の市職員の業者接待の話は、その事実を確認して当該職員を処分したところです。市発注の工事については、監理課を設置し公正に執行しているところであり、当該職員が関与し影響を与えた事実はなく、議員の言われる萩市政の疑惑とは何なのか全く理解できません。別途新たに市職員にそのような事実があれば厳正に処分していきます。

《その他の質問項目》

・市の施設整備について  
・観光振興について



「ひまわりロード」に  
展望台設置、便所の  
整備

中野伸  
(新生会)

【問】むつみ地域のシンボルである、伏馬山の麓にひまわりを3ヘクタール、約10万本を栽培し、その沿道を「ひまわりロード」として活動をはじめ、今は、おつみを象徴する景観となりました。きれいに咲きそろったひまわりは、背丈以上になり、ひまわり一帯を眺めるにも、また、カメラにおさめるにも、展望台の設置が急がれるところです。

また、便所も十分ではなく、観光客に不便をかけます。早急に、便所の整備をお願いします。

【答】むつみ地域において、昆虫王国、ひまわり、伏馬山、四季折々を位置つけた観光プロジェクトができなかったか、また大根・トマトなどの野菜の生産地であることから、地元直販ができないかなどを検討中であり、トイレ・展望台の設置については、その中で、うまく結びつくようにしていきます。全体像をまとめて、中途半端なものを作らないように、今後、農政課・観光課・総合事務所で観光プロジェクトの議論を早期にまとめていきます。



ひまわりロード

- 《その他の質問項目》
- ・「食」と「健康づくり」について
- ・萩市起業化支援事業について



萩市の人口減少に  
対応する施策は

高野晶雄  
(過疎問題を考える会)

【問】労働人口の減少を防ぐことは、過疎・高齢化の進行を止めるために必要です。そのため雇用の場を確保する手段として、自然エネルギーの活用や二酸化炭素の排出抑制につながる施策を実施することを提案します。一つの例は、今夏、田万川で全国で第一号として認定されたRVパークです。駐車場に電源をコインで利用できる設備があり、今後、車での来訪者が増えると期待できます。それによるビジネスチャンスと経済効果で新しい雇用機会が生まれま

す。市長の考えを尋ねます。

【答】キャンピングカーの宿泊スペースとして、理想的な環境にあるということで、RVパークたまがわが全国第一号の認定を受けました。これは、新しいタイプの観光の一形態であり、こういった新しい需要に応えられるような観光地であるべきと考えます。今後、萩の周辺を含め、第二号のRVパークを整備できないか検討します。二酸化炭素の排出問題に対しては、ご提案いただいたことを含め、萩市で何ができるのかという観点で勉強します。



田万川RVパーク

- 《その他の質問項目》
- ・防災への対策について



屋外広告物等に関する  
条例の目的と効果は

西中忍  
(過疎問題を考える会)

【問】平成20年より施行・運用されている屋外広告物等に関する条例ですが、現在でも市民の皆様が十分に理解していないように思います。そこで、この条例を制定した経緯と条例の内容・効果について、ご説明ください。また市内の屋外広告物の設置状況について、市長はどう感じているのかお尋ねします。併せて、事業者が看板を設置する本来の目的と、看板やポスターで良く使用されている「赤色表示」の意味や目的についても、市長の認識をお尋ねします。

【答】景観行政団体である本市は、独自の広告物行政を推進するため、この条例を制定しました。市域を許可地域と禁止地域に分け、それぞれに基準を設けて運用しています。現在は基準に適合した広告物が増えていますが、条例施行前に設置され基準に適合していない広告物もあり、混在している状況です。広告物は事業を行う上で大事なものであり、否定するものではありませんが、歴史的景観を損なわないよう色彩や大きさなどに基準を設けているものです。



条例に適合した看板

# 大島漁港特定漁港漁場整備工事に関する調査特別委員会 調査を終了しました

本委員会は、平成24年7月4日の本会議において設置され、設置目的である当該工事の事務処理等について、延べ7日間にわたり慎重に調査を行いました。

これまで行われた委員会は、以下のように進められました。

## ◎委員会の運営方針

最初の委員会で、本委員会の運営方針と調査事項等について協議を行い、調査事項として市当局に、18年度大島漁港特定漁港漁場整備工事に係る起案（起工）から本契約までの経過と関係書類の説明を求めることが確認されました。また業者接待、金銭授受等の「疑惑」に関しては、証拠品等の提出を要請し調査を行い、その信憑性が高く継続調査が必要ということになれば、調査を進めるという方針を確認しました。

## ◎調査事項

委員会の議論の中で、以下の事項について調査することとなりました。

- 1、執行部から関係書類の提出を受け、当該工事の事務処理の経過についての調査。
- 2、宮内委員から提出された、当該工事に関連し青木議員へ500万円の金銭授受があったとされる疑惑の根拠となる録音テープ及び反訳書の調査。
- 3、録音テープに登場する人物を含めた関係者3人の参考人招致による事実確認。
- 4、萩市議会議員 青木賢次氏を参考人とした参考人質問。
- 5、当該工事に関する疑惑を指摘した宮内欣二委員、諸岡皓二委員に対する個別質疑。
- 6、諸岡委員から提出された、当該工事に関連し青木議員へ500万円の金銭授受があったとされる疑惑の根拠となる新たな録音テープ及び反訳書と、宮内委員より提出された「下請負人届の写し」等の資料調査。

## ◎調査の経過

本委員会では、上記調査項目を順次、慎重に調査を行いました。

まず、当該工事に関する市の事務処理が適正に行われたかについて、膨大な関係書類提出のもと、不自然な流れと指摘された鋼材の流れを含め、三原副市長より詳細な説明を受けました。

次に、本委員会の大きな調査項目である、青木議員への500万円の金銭授受疑惑に関し、宮内委員からその根拠とされる録音テープの提出を受け公聴し、更なる調査が必要だと言うことで、録音テープに登場する人物を含め3人の参考人を招致して事実関係の確認を行うことになりました。

参考人への事実確認において、証言に食い違いがあり、各委員よりさまざまな角度から多くの質問が行われました。

その後、青木議員に対する参考人質問や、宮内委員、諸岡委員に対する個別質疑、また新たに諸岡委員より提出された金銭授受の根拠とされる録音テープの公聴、宮内委員より提出された下請負人届の写し等についても調査を行いました。

調査を重ねて行く中で、委員から「金銭授受の証拠として確証があるものではなく、委員会を続けても平行線をたどるだけなので、調査を終結すべき」という旨の意見や、「本委員会として、まだやるがあるので調査を続行すべき」や「100条委員会へ移行すべき」といった意見が出されたため、各委員の意見を確認し、採決を行い、賛成多数で本委員会の調査を終結することが決定されました。

## 結 論

○大島漁港特定漁港漁場整備工事の入札から工事完了までの事務処理については、適正に処理されている。

○当該工事に関連した疑惑について、現職議員への500万円の金銭授受及び業者接待が行われた事実は確認できなかった。



◎議会終了日に議員提出議案として、以下の決議文が提出され、賛成多数で決議されました。

## 議員の責任ある発言と行動を求める決議

平成24年6月定例会において宮内議員、諸岡議員の一般質問が発端となり、「大島漁港特定漁港漁場整備工事に関する調査特別委員会」が設置されました。

調査特別委員会では、萩市が発注した平成18年度大島漁港整備工事に係る起案（起工）から本契約までの経過及び、同工事を要因とした議員接待、金銭授受等の「疑惑」について、両議員から提出された証拠品等や参考人招致による事実確認などの調査・審議が鋭意行われました。

この調査特別委員会では、「市の事務処理については、適正に執行された。」「現職議員への金銭授受及び当該工事に係る業者接待が行われた事実は確認できなかった。」という結論に至りました。

調査の過程において、萩市議会に対して3通の「申入書」が提出され、いずれの主旨も信用や名誉などの回復を求めるものであります。

あわせて、様々な市民の方に迷惑を及ぼしたことに対する苦情も伝えられました。

これらは、議員として確証が得られない資料による発言、及び議員としてモラルを欠いた行動から市民に対し、議会及び議員への不信を抱かせたことは許しがたい事実であり、このことにより萩市政及び萩市議会並びに議員の品位を著しく低下させたことに対して、関係議員に猛省を促すものであります。萩市議会及び議員は、市政の発展と市民の安心・安全な生活環境を着実に実現するためにも、議員としての自覚を持ち、十分な責任を果たすことが求められるものです。

よって議員は、市政に対して市民から厳粛な信託を受けた立場にあることを再認識し、責任ある行動に努め、疑いを招くような行為は自粛し、政治倫理を念頭に襟を正すものとする。

以上、決議する。

平成24年9月24日

萩市議会



## 討

## 論

### 反 対

現職議員への金銭授受の問題は、特別委員会の不十分な調査の結果からも、非常に確信の高いものとなっています。業者接待を受けていることも判明し、口封じのために暴力団まで絡ませる動きもありました。

萩市において、一部の勢力が支配権を拡大し、公共事業に関わって、業者との関係を強め、金銭やサービスの提供を受けているという実態の一部が見えたというのが、今回の問題提起の本質です。

調査を不十分なままにして、真実を隠蔽しながら、多数決で何も出なかったかのように市民に報告し、逆に疑惑を告発し問題を提起した私達2人を、悪者のように描くことで、問題の本質を覆い隠そうとしています。

市民の立場で新しい新鮮で清潔で透明な萩市をつくるのか、一部の勢力が支配する腐った古い体質を温存するのか問われています。

政治倫理を確立すべきことは、萩市議会の当然の問題です。しかし、その原因を作ったのが私達2人だという議論は、白黒を逆転させ市民を欺くものです。

私は市民の立場に立って、明るい萩市をつくるために断固反対するものです。

### 賛 成

調査特別委員会では、様々な角度からの調査・審査の過程で委員間での意見の対立がありました。このことは、責任ある質疑・応答を行い、委員会のもつ領域・裁量の範囲で真剣に調査・審査している姿勢の表れです。

この調査・審査の証拠品として提出されたのは、宮内・諸岡両議員であることから質疑が集中することは当たり前のことです。その証拠品等への説明が、しっかり出来なかった責任は両議員にあります。

この議員提出議案は「人には厳しく、自分にはやさしく」と思われることのないよう、何よりも人権を尊重する姿勢が大事であること、謙虚な態度で接する議員としての心構えの再認識と決意を市民の皆さんに、議会としてまた、議員として訴える決議であると思います。

加えて、議員のあるべき姿としての倫理・モラルから、市民に迷惑をかける事のないように、自らを戒める事の決意であります。議員全員に求められることです。本来であれば宮内・諸岡両議員が提案者となられてもおかしくない内容です。

議会から市民の皆さんに対して説明責任の一端として申し述べるものです。

## 主要道路整備促進調査特別委員会の活動状況

### 県との連携強化で

早期実現に向けて頑張ります

主要道路整備促進調査特別委員会を9月18日に開催しました。山陰自動車道(益田～萩間)及び、地域高規格道路小郡萩道路の早期整備について、「地方の声が届かない」と言われていることから、山本新知事の政策で重要課題として位置づけてもらうため、新知事への面談要請活動を行います。また山口・広島・島根県内の国交省関係局及び本省の政務三役並びに、関係職員への働きかけを行うことを確認いたしました。更に、萩市・益田市・阿武町との連携を強化し、必要に応じて、山口県・島根県の当局にも働きかけることも視野に入れた行動を展開することにしました。



山陰自動車道萩インター

## 産廃処分場建設問題調査特別委員会の活動状況

### 産廃問題を市民活動にする取組みを

9月18日「萩・福栄水と命を守る会」との懇話会を開催しました。

#### 守る会の報告

守る会からは、(1) 本年7月から産廃業者のホームページに萩市の景観と共に産廃建設予定地が載っていること。(2) 守る会主催の11月開催予定の講演会について。

#### 意見交換

- ・業者の静かな動きとして、産廃建設予定地の写真がホームページに出された事への危機感。
- ・産廃業者は萩市の土地を173ha所有している。(業者が所有している土地では一番広い。)
- ・萩市をホームページに載せた事に対して抗議はできないか。
- ・買い戻せないか。(業者が土地を所有している限り、問題は解決しない。)
- ・もし建設を許すようなことがあれば、風評被害で一次産業は大変なことになる。
- ・女性の力を借りながら、建設反対の声をあげ続けてゆくことの大切さ。
- ・環境教育の推進で小中学生への理解を深めるとともに、PTAなどにも協力依頼をしてはどうか。



## 第13回山口県市議会議員研修会へ参加

8月22日、下関市生涯学習プラザで開催されました。

この研修では、

- ①議会運営については、先の国会で審議・可決された「地方自治法改正」から、地方議会の会期、臨時会の招集権、議会運営における公聴会、再議制度、専決処分、条例公布の各項目について、現行法と改正法の比較が説明されました。
- ②地域産業振興とブランド戦略では、地域ブランドと「食」によるまちおこしについて、全国の特色ある先進地域の取り組みの事例紹介がありました。農水産物型・加工食品型(地域食材加工型とB級グルメ提供型)、また、地域食材加工型の内、さらに、伝統的加工品型と加工品開発型、B級グルメ提供型のうち、まちにお招き型とテーマパーク型と分類し、スライドを用いて事例が紹介されました。





田万川  
地域

たまがわ夏まつり



川上  
地域

阿武川に親しむカヌー教室



萩  
地域

萩市消防操法大会



須佐  
地域

須佐男命いか祭り



むつみ  
地域

ひまわりロードフェスタ



旭  
地域

ささなみふるさとまつり



福栄  
地域

福栄親睦球技大会



置き換えて、あと20余年あると安心したが、こうも考えてみた。20年前は高校3年生にあたり、ついこの前のことで、時の流れの早さにただ驚くばかり。そう思えば、明日と言う一日も特別な色をおびる。明日はどう生きるか、思いを巡らす秋の夜長である。

関 伸久

36歳で市民の負託を受けた私は、今年で39歳となる。巷で言われるアラフォー世代で人生の折り返し地点だ。  
現時点で言えば、萩市議会では最年少で、よく同僚の先輩議員からは「若くていいネ。」と言われるが、返す刀でいつもこう答える様にしている。「あなたにも若い時があり、そう言われた時期があったのですよ。私だけの特権ではありませぬよ。」と。  
時はすべての人に均等に配分される唯一の財産だ。しかし、一方で残酷な一面も見せる。  
先日ある人が私を訪ねて、「今日で還暦を迎える」と言われた。私に

某事業所の予定表の黒板に9月22日が「秋分の日」と記入してありました。  
一瞬「これ違うよ」と言いかけて(まてまてきちんと確かめて)と思つて日めくりを見てみると成程、9月22日が「秋分の日」と書いてあります。知識のない私は合点がいきませんでした。その根拠をみつけました。「春分の日」と「秋分の日」を決めるのは、太陽の通り道である「黄道」と、地球の自転の重心である赤道を天にまで伸ばしていった「天の赤道」が交差する2点をそれぞれ春分・秋分と決めていくそうです。  
因みに今年116年振りに9月22日が「秋分の日」になつたそうです。  
酷暑続きの今夏、彼岸の入り涼しさに「暑さ寒さも彼岸まで」先人の言葉通りに頷くだけです。  
季節の変わり目には体調の管理に特に気をつけたいものです。

### 編集後記

#### 議会だより編集委員会

- 委員長 木村 靖枝
- 副委員長 広兼 義烈
- 委員 齊藤 眞治
- 佐々木 武夫
- 長岡 肇太郎
- 西島 孝一
- 西中 忍
- 平田 啓一